国語科学習指導案

平成30年11月7日（水）5校時

2年2組　33名

指導者　野呂　美佳

１．単元名　平家物語に描かれている武士の価値観を、意見交流を通してとらえよう。

２．生徒について

　・学習者は、1学期に「枕草子」において、清少納言のものの見方や感じ方に触れ、現代にも通ずる思いがあることを理解することをねらって、自分流枕草子を書く活動に取り組んだ。

　・その学習において、学習者は千年を隔てていても、分かり合える感覚があることを知り、古文を身近なものとしてとらえる姿勢が身についている。

　・古文に描かれている情景、時代背景を理解することについては、知識が十分でないため解説を要することが多く、古文に描かれている時代の人々ならではの考え方やものの見方をとらえられない様子がある。

３．単元の指導目標

〈指導目標〉

　登場人物の発言や行動にみられるものの見方・考え方について本文の記述からとらえ意見交流をすることによって理解を深めることができる。

〈指導事項〉

①古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。（伝国ア‐(イ)）

４．言語活動について

・言語活動として、「当時の武士のものの見方や考え方をふまえ、登場人物のその後の行動とセリフを考える」ことを位置付けた。

５．教材について

・「平家物語　祇園精舎　扇の的」（「国語Ⅱ」光村図書）、「平家物語　敦盛の最期」

６　単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

　〇文中から必要なところを引用したり、武士の立場に立って心情を想像したりして、自分の考えを書こうとしている。

【言語についての知識・理解・技能】

　〇「平家物語」に描かれた当時の武士のものの見方や考え方をふまえ、登場人物の発言や行動を想像することができる。（伝国ア‐(イ)

７．指導と評価の計画　全５時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
| １ | 〇本単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。  〇「平家物語」冒頭部分の音読を通して、作品の特徴を考えさせる。 | 本単元で、どのようなことを行っていくのかを説明し、学習者に見通しをもたせる。  ・「和漢混交文」「七五調」「諸行無常」といった特徴を確認する。 | ・伝国  音読等から諸行無常の考え方を理解しようとしている。 |
| ２  ３  ４ | 〇「扇の的」に登場する与一の覚悟や心情を考え、交流する。  〇「弓流し」における義経の考え方をとらえ、交流する | 武士ならではの価値観や考え方に気づかせ、現代との違いを実感させる。 | ・伝国・関心意欲態度  与一や義経の考え方をものの見方や考え方をふまえ、登場人物の発言や行動を想像し、学習プリントに書こうとしている。 |
| ５  本時 | 〇「敦盛の最期」において、敦盛を助けたいと考えたが、助けることが難しい状況におかれた直実のセリフとその後の行動を考え、交流する。 | 当時の武士ならではの価値観や考え方と現代にも通ずるわが子を思う気持ちや若者の命を大切にしたいと感じる気持ちの葛藤に気づかせる。 | ・伝国  当時の武士のものの見方や考え方をふまえ、登場人物の発言や行動を想像し、学習プリントに書こうとしている。 |

８．本時の指導案

（１）本時の目標

　当時の武士のものの見方、考え方をまんがのセリフを考え意見交流することによって、とらえることができる。

（２）本時の評価規準

　資料中の直実の心情を表す表現と、これまで学習した「祇園精舎」「扇の的」「弓流し」の場面から武士ならではの考え方とを照らし合わせながら、直実のその後の行動を想像し、直実のセリフを記述することができる。

（３）本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 指導・支援及び留意点 | 評価 |
| １　前時を振り返り、本時のめあてを確認する。  ２　本時の課題を知る。  ３　自分の考えをワークシートに記入する。  ４　学習班で話し合って発表する。  ５　発表し合ったことをもとに登場人物のセリフを考える。  まとめ：このあと直実は、わが子と同じ年頃の青年を死なせたくないが、他の武士に無残に殺されるなら、せめて自分の手で…と葛藤しながら、敦盛の首をとった。  ６　本文を提示し、現代に共通する思いについて振り返り、音読する。 | ５  学習課題：このあと直実はどうしたと考えられるか。その根拠は何か。  ７  １０  ２３  振り返り：武士として、君主の命は絶対であり命がけなことや、名誉を重んじる考え方は、現代とは違う考え方だったが、若い青年とわが子を重ね、守りたいと思う気持ちは、現代にも通ずる考え方だということがわかった。  ５ | ・「扇の的」の与一や「弓流し」の義経の発言や行動から、わかった武士のものの見方考え方について振り返る。  ・「敦盛の最期」の登場人物のものの見方や考え方について考えることを知らせる。  ・これまでの学習を参考に、このあとの直実の行動と理由を考えさせる。  ・手がかりとなる本文には線を引かせる。  ・困っている生徒には、前時までのノートを振り返るようアドバイスする。  【予想される意見】  ・逃がす。わが子と同じくらいの年だから。  ・逃がす。助けたいと言っていたから。  ・殺す。武士のプライドがあるから。  ・殺す。与一や義経も武士としての考えを大切にしていたから。  ・話し合いや発表の中で自分になかった考えはメモをとる。  ・T1とT2で担当する班を分担して指導にあたる。  ・行動の予想だけにとどまっている生徒には手がかりとなる本文はないかアドバイスする。 | ・ワークシート  本文に線が引かれているか  理由が書かれているか |